

# あいみ富有の里



～広報誌 第101号～

平成29年 2月 1日発行  
発行元  
あいみ富有の里地域振興協議会  
広報誌編集委員会  
問い合わせ先 64-3504  
fuyuuunosato@town.nanbu.tottori.jp

## 第22回富有塾を開催

1月29日(日)金田在住の細田義人氏を講師にし、富有塾を開催した。同氏は脳神経内科の専門医の立場から、認知症の予防対策について「高齢期ではだれでも起きうる症状である。失語・失認・失行・実行機能の障害は、早期発見すれば治癒可能なタイプもある。早期診断・治療が大切である。また、社会活動・余暇活動は発病を減少させる要因になる。」と講演。

参加者から「認知症と診断された場合の接し方や運動の仕方」などについて質問があり、同氏から分かりやすく解説があった。

当日は、テーマ設定や住民の関心の高さが反映してか、富有塾としては開催以来最高の31人の参加者があった。

次回の富有塾は3月に開催予定。(総務企画部)



認知症にならない5ポイント…  
**運動・社会性  
教育・食事  
睡眠** で～す。



## 特産品開発の試行を計画

遊休農地解消対策として、ソバ栽培を行っており大方のめどが立ったので、来年度はエゴマ栽培を研究することを検討。

エゴマは国内の流通が輸入にほとんど依存しており、国産化が各地で取り組まれている。また、エゴマの効用は健康食品として注目されている。

播種から定植、収穫まで全て人力によるもので、経費がほとんどかからず10aあたり60kg収穫できると試算(ある調査機関試算結果)した結果、相当料の収益性があるとされている。

遊休農地解消、農業振興のためエゴマの試験栽培に、市山地内の約20aの水田を活用し、取り組むことを予定している



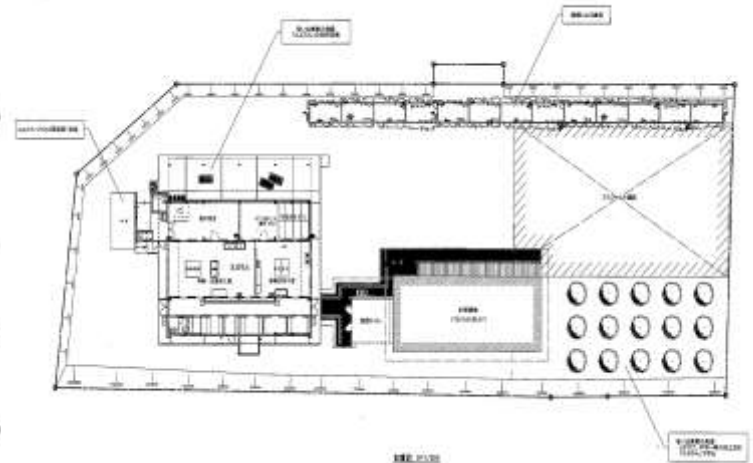
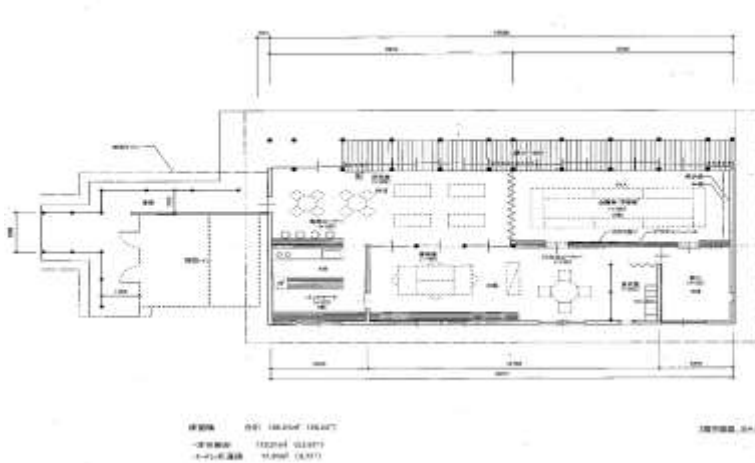
岡山県久米郡美咲町で視察研修の様子





# 賀野地区サテライト拠点施設構想(案)

地域振興のため「えぷろん」敷地内に、交流拠点づくり計画が進行中。協議会事務室のほか、交流スペースには地域密着型の店カフェでの喫茶運営や会議室・学習室では若者層を対象にした区画を計画し、若者を呼び込む施設を予定。  
 平面図(案) 配置図(案)



## むら・まち支え合い共生の里 新ソバの収穫祭



## 除雪機出動!

児童生徒の通学路歩道除雪支援を行うため、積雪10センチ程度になった場合に歩道除雪を行い、児童生徒の通学路を確保する。なお、県道1号線(朝金G)及び160号線(金田G)は、地域住民の皆さんの協力を得て歩道除雪を行った。(地域づくり部)



### 富有の風

年末年始、近所から子供たちの声が聞こえない。そういえば当集落の小中学生は10人程である。  
 全国の自治体が地方創生の取り組みを行い、少子化と超高齢化社会に直面し、人口減少対策を進め、各地で「まち、ひと、しごと」の1億総活躍社会を目指し様々な取り組みが計画されている。次世代を担う人づくり、人材育成は地域活性化から必要不可欠である。  
 このような中で、えぷろん敷地内に予定している、サテライト交流拠点施設(富有の里交流拠点施設)にJASCA(一般社団法人全国学生連携機構)の学生2人が、何もない南部町、何もない賀野地区に「まちづくり協力隊?」として起業を計画している。若い人を呼び込み、人と人との繋がりがや触れ合いの地域が創生される、仕組みづくりに期待したい。(Y)

### 行事案内

- ★合同いきいきサロン交流会  
日時:2月7日(日)10:00~総合福祉センターいこい荘
- ★町民バウンスポール大会  
日時:2月7日(日)8:30~農業者トレセン
- ★まちの保健室  
日時:2月23日(木)9:30~  
場所:総合福祉センターいこい荘
- ★むらまち支え合い共生の里事業  
日時:3月5日(日)13:30~  
場所:農産物加工施設「えぷろん」  
内容:原木椎茸の植菌交流

原木のシイタケ



<参加者募集>